

令和5年度双葉会本部事業計画・収支予算(抜粋)

1. 基本方針

今年度は昨年度に続き、1.感染症や災害への対応力強化、2.地域包括ケアシステムの推進、3.自立支援・重度化防止の取組の推進、4.介護人材の確保、介護現場の革新、5.制度の安定性・持続可能性の確保、これらを中心に全役・職員が一丸となって運営を進めてまいります。

特に、長期化する新型コロナウイルス感染症のコロナ禍において、円滑な運営ができるようBCP（事業継続計画）の見直しと強化を進めているところであり、利用者・園児・患者の皆さまが安心して利用できるよう各事業所とも努めてまいります。

また、琴清苑については、新しい建物設備と定員数での運営を軌道に乗せることを目標に事業の展開を進めてまいります。

さらには、深刻化している介護職員の人材難、待機者の激減等々と課題は山積していますが、より良い福祉サービスの提供、町内居住者の雇用の確保、新卒者を含めた若年層の専門職育成、EPA介護福祉士候補生・外国人介護技能実習生・特定技能実習生の受入れ・育成に努めてまいります。

氷川保育園、双葉会診療所においても、感染症予防対策をはじめ労働環境、安全環境管理の向上を推進いたします。

2. 計画

各施設が地域拠点となり地域と連携したサービスの提供を推進するため、以下の計画を指針として事業の展開を図ります。

- 組織のガバナンス強化と法人理念の再確認
- 適正な運営管理と法人理念「心の福祉」の再確認
- 事業運営の透明性の向上
- 財務諸表公表の徹底と各種規程の整備
- 財務規律の強化
- 適正かつ公正な支出管理の確保
- 社会貢献事業の推進強化（地域における公益的取組の強化）
- 配食サービス・送迎事業の拡充と琴清苑地域交流スペースの活用案の検討
- 雇用対策の更なる強化（奨学金制度の周知）
- 若年層の雇用促進・育成と再雇用制度の充実、EPAフィリピン人介護福祉士候補生・インドネシア人介護技能実習生・特定技能実習生の教育体制整備
- 高齢者虐待防止と児童虐待予防
- 虐待防止マニュアルの周知徹底、児童虐待予防体制の強化
- 処遇改善加算一律支給の継続と人件費率の改善
- 感染症・防災対策の強化（事業継続計画（災害編BCP）の周知と（感染症編BCP）の見直し強化）
- ハラスメント対策と苦情解決への取組み強化
- ハラスメントの防止に関する規程の制定と第三者委員との意見交換会の定期開催

以上九点を重点項目として計画を推進いたします。

3. 財源

コロナ過により減額の著しい状況において人件費、委託業務費、光熱水費等、経常経費の見直しを実施し財政面での緊縮を検討する。また、介護老人福祉施設においては介護報酬単価・加算の要件について検討研究し安定的な財源確保を図ります。

4. 各施設計画

- 介護老人福祉施設
 - 介護保険収入に見合った運用
 - 各施設利用稼働率と要介護度の高レベルでの維持
 - ショートスティ利用稼働率の向上
 - 直営給食事業の安定化
 - 地震対策と感染症対策の強化

- 保育園
 - 更なる保育サービスの充実
 - 児童と高齢者の交流対策
 - 地震対策と感染症対策の強化

- 双葉会診療所
 - 当直医師の確保（継続事項）
 - 組織の充実強化と働きやすい環境作り
 - 診療報酬対応（病床利用率向上と外来患者数の増加）
 - 地震対策と感染症対策の強化

詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	本部会計
事業活動収入計	2,555,000
事業活動支出計	7,175,000
事業活動資金収支差額 (-)	-4,620,000
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	0
施設整備等資金収支差額 (-)	0
その他の活動による収入計	15,000,000
その他の活動による支出計	8,380,000
その他の活動資金収支差額 (-)	6,620,000
予備費支出	2,000,000
当期資金収支差額合計 (+ + -)	0
前期末支払資金残高	49,889,574
当期末支払資金残高 (+)	49,889,574